

**令和2年度 第5回 高砂市上下水道事業審議会
議事要旨**

開催日時	令和2年10月26日(月) 13時30分～15時30分
開催場所	高砂市役所 南庁舎5階大会議室
会長等	山口会長、渡部副会長
出席者 (50音順)	西牟田委員、馬場委員、前田委員、山口委員、山本委員、渡部委員
欠席者	埴岡委員
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について</p> <p>(2) 工業用水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について</p> <p>(3) 下水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について</p> <p>(4) その他</p> <p>3 閉会</p>
資 料	<p><事前配付></p> <p>(次第書) 第5回高砂市上下水道事業審議会会議次第</p> <p>(資料1) 水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について</p> <p>(資料2) 工業用水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について</p> <p>(資料3) 下水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について</p> <p>参考資料1 加古川市水道事業経営戦略</p> <p>参考資料2 加古川市下水道事業経営戦略</p>
議事の経過	
発言者	発言の要旨
事務局	<p>1 開会</p> <p><本日の資料の確認></p> <p><本日の進行について説明></p> <p><審議会の傍聴の許可、議事経過及び写真撮影の許可、市のホームページへの掲載了承願い> → 承認。</p> <p><出席者自己紹介></p> <p>協議事項に入りたいと思います</p> <p>議事進行について、山口会長よろしく申し上げます。</p>

	<p>2 協議事項</p> <p>(1) 水道事業経営戦略における投資・財政計画（案）について</p>
会 長	それでは次第に沿い進めます。水道事業経営戦略における投資・財政計画（案）について、事務局から説明をお願いします。
上下水道部	「水道事業経営戦略における投資・財政計画（案）について」を資料により説明。
会 長	ありがとうございます。ご説明によるといろいろと経営努力をしているが、料金改定をしないと今後赤字が大きくなるということがこの資料で見取れます。資料について、何かご質問ご意見等がございますか。
委 員	4 ページで、目標耐用年数を設定して費用の抑制を図り長寿命化とありますが、これは企業法に定める法定耐用年数を単に延ばしているだけですか。それとも何か修繕費を増やして延ばしているのですか。
上下水道部	更新基準という考えで後者の修繕費を加えながら長寿命化を図っていくことです。
委 員	この減価償却は定額法か定率法のどちらですか。
上下水道部	定額法です。
委 員	年数が経ってくると減価償却費を抑えても修繕費が増えてくる現象がよくありますが、その辺は考慮されていますか。
上下水道部	はい。 基本的に法定耐用年数というのは、減価償却を行っていくための年数として設定していますので、実状に合った日本水道協会の指針での目標耐用年数を設定しています。
委 員	実際ならもっと長く使えるということですか。
上下水道部	そうです。
委 員	わかりました。
会 長	これも含めて、すぐに更新の投資をするのではなく、しばらく使えるものは長く使うこともコスト削減の一つだと思いますけども。その他いかがでしょうか。 なければ次に移ります。

	<p>(2) 工業用水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について</p> <p>それでは、協議事項の(2) 工業用水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
上下水道部	<p>「工業用水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について」を資料により説明。</p>
会長	<p>事務局から説明は以上になります。この資料については古い契約で、古くから高砂に生産拠点を置いている三菱製紙とカネカの2社と特殊な契約を結んでおり、2社との協議にて料金等を決めていくというのが今までの流れです。ただ、設備も古くなり更新が必要になってくるが、水の使用量は減少傾向ということで対策が必要となっています。工業用水道事業も使用量は減少かつ設備の老朽化という状況にあるので、経営的に非常に厳しい状況にあるといえますね。したがって、できる限り設備の更新ではなく、修繕等により使用年数を延ばして対応するのが現状ですが、どこまでも延ばせるわけではないので、どこかで決断しなければいけませんね。</p>
管理者	<p>工業用水道事業に関しては、税金を投入せず全額この2社が財源を負担しています。毎年いろいろと協議をしながら事業の継続について相談しながら、次年度の予算を組み立てており、それを続けていきたい。また、料金ではなく負担金という形で2社から財源負担していただいております。以前、負担金改定をして料金という形に変更する議論があった中で、負担金を上げる代わりに水道事業に寄付金をいただいております。(1)の資料の11ページをご覧ください。資本的収支の設定の収入の2つ目に寄付金というのがあります。これは令和3年度は7,500万円ほどおいていますが、令和4年度以降は計上していません。というのも、企業の業績等の事情によりこれ以上寄付金を出し続けていくのが難しいという申出が以前からあったからです。現在の協定締結期間中はお願いしておりますが、その協定が令和3年度で終了します。令和4年度以降も協議を重ねていかなければなりません、最悪の状態を考えて、令和4年度の寄付金はゼロとして、水道料金についてもシミュレーションをしたという経緯です。</p> <p>工業用水道事業では、予備的な修繕費の引当金にあたる予算が全く無く、毎年ゼロ精算で行っています。そこで突発的な修繕があった場合に企業に負担をしていただかないといけないので、この寄付金を予備的な修繕費等に回せないかということ、次回の協定を結ぶまでに協議していく考えです。それによって水道事業のシミュレーションも少し変わってくる可能性がありますので、そのことを念頭において、ご協議いただきたいと思います。</p>
会長	<p>水道事業も工業用水道事業も同じような構造で進んでいるようで、今後いずれにせよ大変な事態を想定しておかなければいけない状況ということですね。</p> <p>ほかに何かご質問等ありますでしょうか。では次に移ります。</p>

	<p>(3) 下水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について</p> <p>それでは協議事項の(3)下水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
上下水道部	<p>「下水道事業経営戦略における投資・財政計画(案)について」を資料により説明。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。下水道事業の方はしばらく今のままで大丈夫な状態にあるという試算結果ということなので、令和12年の計画段階においては料金改定を考えなくてもよいという見解ですね。</p> <p>しかし、下水道使用料は上水道の使用量によって算出されているため、今後は上水道の使用量が減少すれば、水道料金も下水道使用料も両方とも減少していく傾向にあるということですね。</p> <p>下水道の接続率はまあ高いので、今のところ効率的な運営ができていますが、問題点としては数か所にある下水処理場を1か所に集約したほうが経費が抑えられるので、その方向で検討して今後10年間をなんとか黒字でいきたいというところかと思います。</p> <p>何かこの資料についてご質問等はございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>今日は経営状況の説明ということで、特に(1)の資料で水道事業が令和5年になると赤字になる可能性があることがわかりましたので、今後水道事業をどうしていくかということを含めて議論していかないといけないです。</p> <p>これで3つの協議事項を終わらして、その他の事項に移ります。</p>
事務局	<p>(4) その他</p> <p>今後の審議会スケジュールを説明。</p>
上下水道部	<p>次回の審議会の内容ですが、「参考資料1 加古川市水道事業経営戦略」のような形で、今まで本審議会でも協議してきた内容を経営戦略という形でまとめさせていただいて、その内容についてご協議いただきたいと思います。</p> <p>例えば参考資料1を開いていただいて、1ページの主に事業の概要とか、2ページの将来の事業環境といったところは今までもご協議していただいていたところです。</p> <p>4ページの経営の基本方針で、4番目の投資・財政計画(収支計画)が今回お示しさせていただいた部分になるのですが、これらの内容をまとめて最後の7ページの財政収支見通しを作成いたします。次の審議会ではこれについてご協議いただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。</p> <p>続いて、工業用水道事業、下水道事業についても同様に経営戦略を策定してご協議いただく形になりますので、よろしくお願いいたします。</p>
部 長	<p>補足ですが、この参考資料1の経営戦略の形は総務省が提示している様式であり、加古川市は2年前に作成されておりますが、今回高砂市でも経営戦略の作成にあた</p>

	<p>り、同様の様式で作成していきたいと思います。</p>
会 長	<p>経営戦略を作成していく上で一番の課題は、水道料金をいくら上げるかということになるので、今までのご説明を受けて我々委員も危機感を共有しているところですね。</p> <p>高砂市のような歴史のある町では水道設備の経年劣化が進んでおり、経営の効率化に努めて運営してこられてますが、それもだんだん厳しくなっているという現状ですね。それでも立派に運営されているので、今のところ兵庫県で2番目に安い水道料金を実現してますし、少し値上げしてもまだ兵庫県下では随分安いほうだと思います。しかし今後は安さにこだわっている状況ではないということだと思います。</p>
管理者	<p>他市との比較のグラフがありますが、これは単純な比較であり、高砂市が10年後値上げしたとして、他市の水道料金も上がっているかもしれないので、あまり参考にはならないかもしれません。</p>
委 員	<p>資料(1)19ページで、芦屋市、伊丹市はどう努力されているのかを聞こうと思っていたのですが、管理者のご説明で理解しました。</p>
会 長	<p>先ほど管理者のご説明のように、他市でも大体同じ状況にあるので、人口密度が高い高砂市は、豊岡市などと比べて町が集約されているので、水道や下水道のネットワークも比較的効率よく行き届く状況にあると思います。また、水源が豊かで水道料金が低く抑えられています。ただ、浄水場や下水処理場、水道管や下水道管などの設備が経年劣化でどんどん悪くなり、特に水道は古くからきちんと事業を運営してきたのが、もう寿命がきている。そういった中で全てを同じタイミングで更新したいのですが、経費の関係もあるので知恵をしばって、悪いところから順番に更新していきながら、次へつなげていかないといけない高砂市の現状だと思います。</p>
管理者	<p>先ほどの芦屋市ではきれいな水源をもっておられることがあると思います。芦屋市ではきれいな水を使ってビールを作っているくらいで、そのような水源に有利なところがあると聞いたことがあります。</p>
会 長	<p>西宮市では北と南で別れているようで、水道事業で苦勞されているそうです。</p>
管理者	<p>あと阪神地域は、阪神水道企業団などで地域で一緒になって取り組んでいますね。</p>
会 長	<p>そうですね。阪神間はまだ安いところで、山間部になればなるほど人口密度が低くなり、水道や下水道の配管距離が長いけれどお金を落としてくれる人や企業が少ないという状況のところもあるようです。長い水道管を維持しつつ住民全体に届けないといけないのが大変になるというようです。</p>

委員	下水道事業の国庫補助金は40%ですか。
管理者	下水道事業についてはそうです。水道事業は今はほとんど国庫補助金は当たっていません。
委員	下水道事業の国庫補助金は2分の1ではないのですか。
部長	下水道事業は基本的に2分の1の国庫補助金が当たるんですが、適応する範囲が国庫補助金にあたらぬ部分があるので、40%程度となっています。
委員	それで、10年の起債ということですか。
管理者	30年です。
会長	返済に関しては、なかなか早く返させてくれないとかいろいろ理由があつて、起債に対する返済は30年という国のルールに従って返済しないとイケないなど、経営上やりにくいこともあるようですね。たとえ高砂市の税収が増えたとしても、一般会計からの繰入金などにも基準が決まっています、ルールの範囲でやっていかないとイケないので、考え協議を重ねてやってくことになるということですね。 以上です。本日はありがとうございました。
	3 閉会